

基本評価シート

様式

北海道 胆振・室蘭地域

(北海道胆振総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（室蘭地域）(2)		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	胆振総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	主任 十川 智一	担当者連絡先	0143-24-9577
捕獲実施事業者	（ 認定を受けている ）・ 受けていない） 令和6年度エゾシカ指 定管理鳥獣捕獲等事業 委託業務北海道猟友 会・セ・プラン受託コン ソーシアム	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50頭	26頭	52%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ (個体数指数：東部148、北部127、中部112、南部388)	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
35,232頭(R5)	61,491頭(R5)	58,803頭(R5)

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~22万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個

体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年12月3日～令和7年3月25日(※委託期間)
実施区域	<p>胆振 室蘭地域 [地球岬鳥獣保護区、測量山鳥獣保護区、室蘭特定猟具使用禁止区域(銃)]</p> <p>近年、鳥獣保護区から近隣の市街地や港湾施設へのエゾシカの出没が確認されており、生活環境被害や交通事故等の発生が懸念される。</p> <p>また、特定猟具使用禁止区域(銃)に指定されており、住宅地と山林が近接していることから銃猟による捕獲が難しい地域である。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境省北海道地方環境事務所 実施区域に係る希少種等の情報提供や捕獲事業における情報共有を図る ・ 林野庁北海道森林管理局(後志森林管理署) 捕獲事業における情報共有を図る ・ 室蘭市 地元関係機関、地権者等との調整や現地確認、手続等に対する助言、協力を行う。 ・ 北海道立総合研究機構(エネルギー・環境・地質研究所及び林業試験場) 捕獲方法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る
事業の捕獲目標	<p>(52%達成)</p> <p>= (26 頭実績値) / (50 頭目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ(スマートフォンを含む)で撮影し、データも併せて添付する。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他(捕獲現場にて立会)</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>

<p>環境への影響への配慮</p>	<p>わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：締め付け防止器具を調整したほか、こまめな見回りと ICT 機器の使用により錯誤捕獲があった場合には速やかに対応できるようにした。また、誘引餌の種類を工夫した。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
<p>安全管理の体制</p>	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。</p> <p>受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。</p> <p>捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。</p> <p>また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。</p>
<p>捕獲従事者の体制</p>	<p>【雇用体制】 捕獲従事者数：15人、作業従事者14人 (内訳) 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：29人</p>

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

<p>1. 捕獲に関する評価及び改善点※</p>	
<p>【目標達成】</p>	<p>評価：事業対象地は鳥獣保護区、特定猟具使用禁止区域に指定されており、加えて住宅地と山林が近接しているため、エゾシカの捕獲及び狩猟が行われていない地域である。捕獲が実施できる区域に制限があることから、今年度の事業では捕獲手法を「わな」のうち「くくりわな」とし、住宅地近傍における安全な捕獲手法の検討を目標とした。</p> <p>くくりわなにて目標捕獲頭数を50頭とし、捕獲結果は26頭であった。</p> <p>目標頭数の捕獲に至らなかったものの、住宅地近傍における誘引餌を使用したくくりわな捕獲は一定の捕獲効果があり有効な手段であった。</p> <p>改善点：当該地域におけるエゾシカの推定生息数は分かっていない状況。今後も生息状況調査を継続するほか、住民からの目撃例などからエゾシカの生息地域や移動</p>

	経路の把握に努め、より適切な捕獲目標を設定する必要がある。
【実施期間】	評価：餌資源が不足する積雪量の多い時期である1月下旬から2月上旬頃までを捕獲期間として設定した。例年よりも積雪量がかなり少なかったが、当期間での捕獲は有効である。
	改善点：積雪前期における捕獲の可能性についても今後検証する必要がある。
【実施区域】	評価：過年度に引き続き絵鞆半島及び崎守地域において捕獲を実施し、また今年度より新たに八丁平地域においても捕獲を実施した。捕獲実施前に行った事前調査において、いずれの実施区域でも自動撮影カメラによるエゾシカの生息を確認したほか、足跡や糞などの痕跡を確認したため、適切な実施区域であったと考える。
	改善点：当該地域では、実施地点以外にも市街地近傍でエゾシカが出没する地点が複数あることから、実施地点の絞り込みに調整を要するものと考えられる。
【捕獲手法】	評価：当該地域は、詳細な捕獲地点などの情報が蓄積されていないことから、足跡や糞の痕跡等から判断して架設している。そのため痕跡や積雪量に応じて、架設場所を容易に移動できるくくりわなは有効である。
	改善点：今回の事業では、過年度に錯誤捕獲が生じたことを踏まえ、複数種類の誘因餌の効果検証を行った。今後も錯誤捕獲が生じない方法を検討していく必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：高度な捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体がコンソーシアムを構成して受託したことから、役割分担が明確であり十分な体制であった。
	改善点：特になし
【個体処分】	評価：特になし
	改善点：事業実施区域近郊にエゾシカの食肉処理施設がないため、捕獲した個体の全頭を一般廃棄物として処理をした。そのため、ペットフードなど食肉以外の有効活用について検討していく必要がある。
【環境配慮】	評価：当該地域では、野良猫やキツネ、アライグマなどの生息が確認されていたことから、くくりわなの感度を低く設定する、締め付け防止器具を調整するなどの対策を行った。また、特定外来種であるアライグマの錯誤捕獲に備え、捕獲許可を得て対応できるようにした。
	改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。
【安全管理】	評価：周辺住民へのチラシ配布や町内会役員への事業説明等を行った。事故や苦情はなく、安全管理に問題はなかったと考える。
	改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし	
4. 全体評価 住宅地や観光地が隣接する地域で、事故や苦情等なく事業を実施することができた。	

エゾシカの生息域が人口密集地に近いことから、今後もエゾシカの市街地出没が想定される。
そのため、今後も継続して捕獲事業を実施していく必要がある。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

市などによる許可捕獲(有害駆除)等が実施されていない地域で実施したことにより、当該地域における生物多様性への影響の軽減及び市街地出没の減少による被害防止に寄与する事業となったと考える。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域(都道府県・市町村)ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点(緯度経度) <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟: のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟: わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日: 捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図(地図)※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない

SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1}: _____ 人日

事前調査人日数概数^{※2}: _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数: _____ 人日

項目	令和6年度 —(事業年度の値)—	令和5年度 —(前年度の値)—	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}: 234 人日

事前調査人日数概数^{※2}: 21 人日

出猟（捕獲作業）人日数: 213 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	1,500 基日	1,950 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 —(事業年度の値)—	令和5年度 —(前年度の値)—	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 —(雌捕獲数/全捕獲数)—			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
-----------------------	--	--	---

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	26頭	20頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.88 (23/26)	0.70 (14/20)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.00 (0/26)	0.05 (1/20)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	26頭	1,500基日	0.02頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
-------------------------------------	---	----	---

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 3人・時間

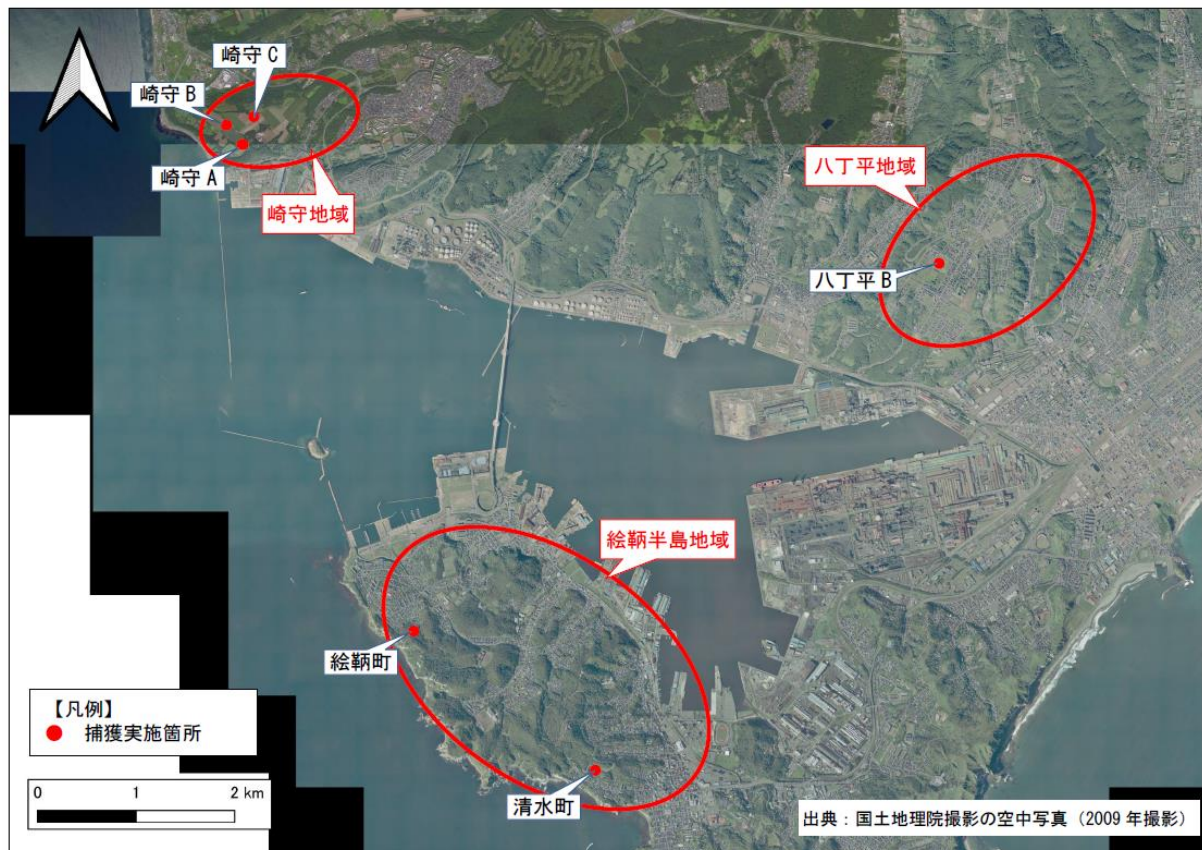
処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体ごとに写真付きの捕獲個体記録票を作成させたほか、発注者が可能な限り捕獲個体の現地確認を実施した。

捕獲個体を廃棄物処理した場合は、処分票や領収証等の記録を報告させた。

○実施区域図



○概況図

